

コンクリート用被膜養生剤 スミセエスシー

スミセエスシーとは

施工クオリティーを最大限に高める
ジェットセメントの必須アイテム

スミセエスシーは、コンクリート表面の仕上がり、耐久性向上に最適な被膜養生剤です。コンクリート打設直後に塗布するだけで初期養生に良好な効果を発揮します。

スミセエスシーの特長

- 1.円滑なコテ仕上がが可能です。
- 2.急速な乾燥による、ヘアークラックの発生を防ぎます。
- 3.透気性を下げ、中性化を抑えます。
- 4.耐摩耗性の向上が期待できます。

スミセエスシーの用途

スミセエスシーはエチレン酢酸ビニルを主剤とした被膜養生剤であるため、あらゆる種類のコンクリート表面仕上げ被膜養生剤として使用することができます。とりわけブリーディングがなく、硬化時の発熱が高いため乾燥しやすいジェットセメントには有効に作用します。

スミセエスシーの性状と荷姿

主成分	エチレン酢酸ビニル
外観	乳白色液状
pH	4.5~9.5
比重	1.06±0.05
固形分	54±1%
粘度	700~1300cps (25°C)
荷姿	18kg化粧缶入り



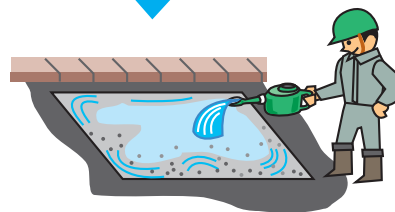
スミセエスシーの使用方法



- 1.スミセエスシーとバケツ等の容器、適当な散布器(ジョウロ・噴霧器等)ハケ・ブラシ等を準備します。



- 2.スミセエスシー1に対し、水を1~2の割合(2~3倍液)で加え、良く混ぜます。尚、水は水道水等の清浄な水を使用してください。



- 3.散布器でコンクリート打設箇所に均一に散布します。散布量はスミセエスシー希釈液1リットル当たり8~9m²が標準です。



- 4.散布器を用いて均一に散布し、コテならし仕上げをします。コテならし仕上げをしない場合は、噴霧器による散布が適当です。



- 5.使用後の器具は十分に洗浄してください。

スミセエスシーの取扱上の注意

スミセエスシーには毒性はありませんが、以下の事項に注意してください。

- 皮膚に付着した場合は速やかに石鹸で洗浄してください。
- 目に入った時は水で洗浄後、医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには速やかに医師の診断を受けてください。

保管上の注意

★使用後の残液は、必ず密封して、直射日光・凍結を避け、常温にて保存してください。



取り扱い上の注意

- 直接、皮膚に触れたり、目に入らないようにしてください。
- 作業時には、保護手袋、防塵眼鏡等を必ず着用してください。
- 十分な換気に配慮してください。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 口に入った場合は、きれいな水で十分にうがいをし、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流してください。
- 保管される場合は、必ず密封してください。

物性値の詳細については、当社試験成績表等をご参照ください。
使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28
大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F)
東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30 3F)
北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)
福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

電話 03(5211)4752 Fax 03(3221)5624
電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は